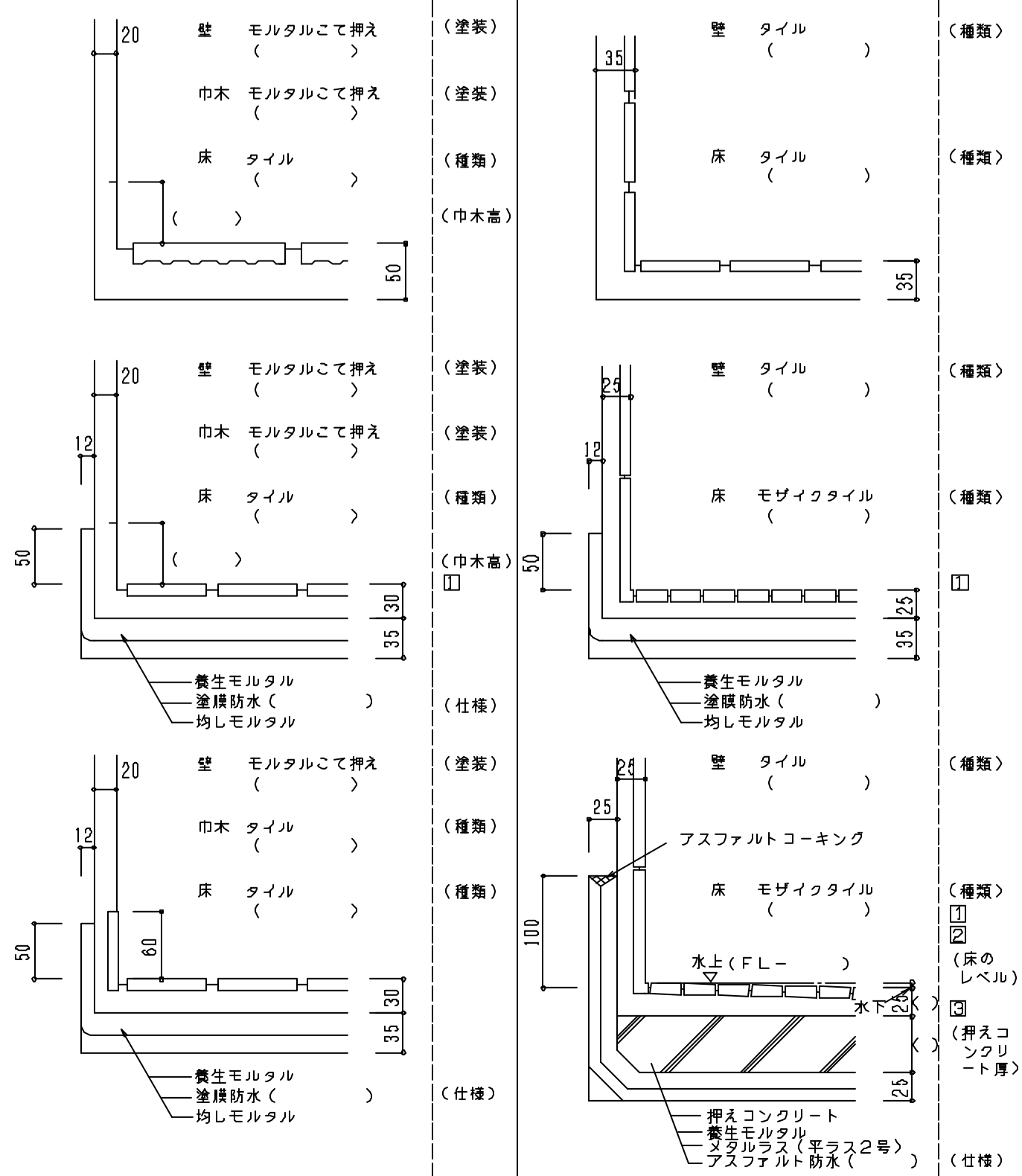
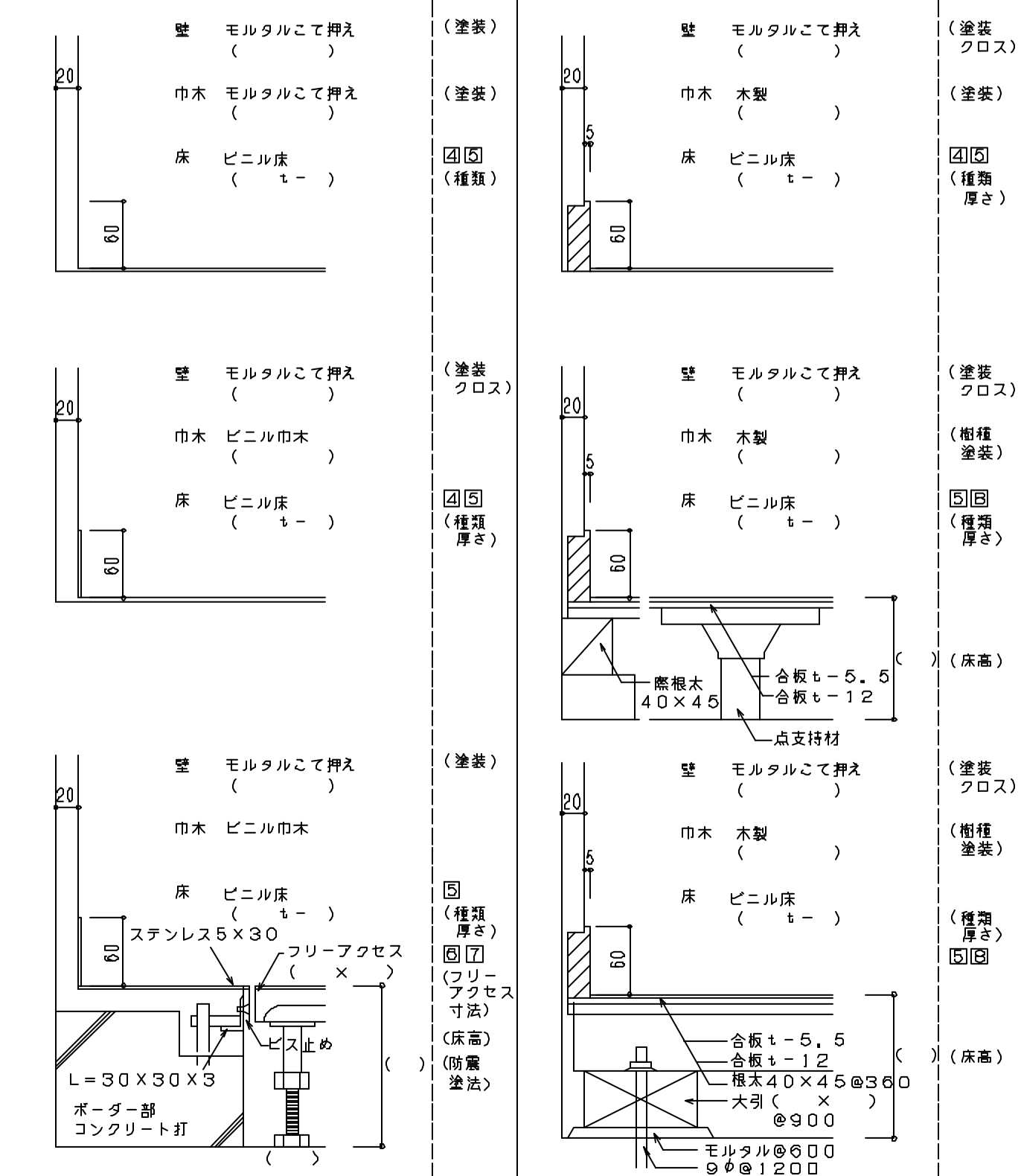


床	タイル
壁	モルタルこて押え



- ① 防水立上りの切欠きは、構造上主要な部分(柱、耐震壁等)については増打とする。
- ② 厨房、浴室の防水立上り寸法は使用条件を考慮して決める。く100を最小とし300を越える場合は端部を金物押えとする。
- ③ 押えコンクリートの厚さは水下で60mmを原則とするが、埋設配管を考慮すること。又大面積の場合は伸縮目地を50㎡内外ごとに設ける。
- ④ コンクリート直押えの場合は、スラブを10mm増打する。モルタルこて押えとする場合は塗厚を明記する。

ビニル床(ビニル床タイル・ビニル床シート)	
床	モルタルこて押え



- ⑤ ビニル床タイル(ノンアスベストタイル、塩ビタイル等)及びビニル床シートの種類、厚さを明記する。(特にビニル床シート類は種類も多く単価も大きいので、メーカー・品名等も〇〇程度と明記する)なお土間コンクリートの場合は、湿気による床材剥離防止のため「エポキシ系接着剤使用」と明記する。
- ⑥ フリーアクセスフロアの仕様・寸法・許容可重及び静電防止タイル・免震・防振仕様の要否について明記する。
- ⑦ 周辺固定床の見切縁の位置は、フリーアクセスの温度による伸びを考慮して決定する。
- ⑧ 下地の合板は、小規模で目地の恐れが少ない場合は上張合板(t=5.5)をやめることができる。